

令和3年2月19日

新型コロナウイルス感染者の発生後の状況について（第5報）

先にご報告させていただいております、南勢カトリック特別養護老人ホームの入居者様1名が新型コロナウイルス陽性（三重県発表2324例目）と確認されて、2週間経過いたしました。

ご関係者の皆様をはじめ多くの方々に、ご迷惑をお掛けしていますことを衷心よりお詫び申し上げます。

現在の状況につきまして、次のとおりご報告申し上げます。

前述の入居者様は、退院許可が出るご状態まで回復されました。

ひとえに入院先病院のスタッフの皆様による、献身的な医療のお陰であり感謝に耐えません。

また、ご高齢の身にも関わらず、この苦難を越えられたご本人にも敬意を表したいとおもいます。

ご退院日等については、現在調整中です。

2月6日から19日までの2週間、健康観察のため自宅待機していました職員11名（2/6実施のPCR検査で全員陰性）は、本日まで全員健康状態に異変が無いことを確認しています。

また、2月18日施設として任意で、当該職員に抗原検査を実施し、全員の陰性を確認しました。

明日2月20日より11名は、元のとおり勤務に戻ります。

11名の職員を欠いた状態で、そのうえに感染防止対策の一層の強化を施しながら施設運営を続けさせていただきました期間中、入居者様に十分な介護をご提供できませんでしたことを深謝いたします。

この期間中、残った職員全員が日々奮闘し、耐え抜いたことにより、本日まで新たな感染者が生じることなく、施設運営の崩壊を回避することができました。

職員体制回復後、日常のサービス提供を取り戻し、入居者様に平穏な生活を過ごしていただきたいとおもいます。

この先も予断を許さない局面が続きますが、気を緩める事なく引き続き感染対策を徹底し慎重に施設運営を進めて参りますので、なにとぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

社会福祉法人聖ヨゼフ会松阪
理事長 古林 睦敏